

研究実施のお知らせ

2019年9月20日 ver.1.2

研究課題名

島根県における外傷患者の基礎疫学的調査

研究の対象となる方

2016年1月から2026年12月の間に島根大学医学部附属病院救命救急センターまたは高度外傷センターを受診された外傷（けがの）患者さんです。

研究の目的・意義

わが国では年間約40,000人の方が不慮の事故死で命を落としています。この重症外傷患者さんの治療成績向上のためには、その医療圏において発生する外傷の基礎的な背景や治療内容と治療成績をはじめとした基礎的な疫学的データが不可欠です。外傷患者の疫学的調査は、外傷診療における基礎的な情報を明らかにし、発生した外傷患者の有効な治療法改善に大きく貢献します。さらに地域における有効な「外傷システム trauma system」の構築にも大きく役立ちます。「外傷システム」（医療圏毎の実情に合わせて構築する外傷診療体制）が構築されることにより、「防ぎ得た外傷死 preventable trauma death (PTD)」（本来であれば救命されるべきであったが死に至ったもの）を減少させ外傷死の少ない社会を構築することに大きく貢献します。

しかし、島根県を含めた地方に特化した疫学的情報はこれまでなく、都市部の情報を元に外傷システムは構築されてきましたが、それが島根県の外傷システムに合致しているとは言いがたい現状があります。

本研究では、当医療圏(島根県)における外傷患者の救命率を向上させるための有効な治療法を検討する上で必要とされる基礎的な疫学的調査を実施することで、よりよい治療法を開発するとともに、有効な外傷システム構築を目指すものです。

研究の方法

島根県全県から搬送された外傷患者の基礎疫学的調査を行います。受傷直後から病院搬送までの病院前の状態（受傷メカニズム、受傷場所、搬送手段などの病院前情報）、来院から治療終了（入院の場合は入院の経過など）までのバイタルサイン（呼吸数、血圧、脈拍数、意識、経皮的動脈血酸素飽和度など）、治療で行われた検査結果（血液検査、CT検査、X線検査など）および治療内容（手術、血管内治療）などの情報をカルテから収集し、生理学的重症度および解剖学的重症度を算出して重症度に応

じた治療内容・治療結果の解析を行います。各データは年毎に解析され、地域の外傷システムまたは外傷診療の改良などに生かされる基礎的データとなるとともに、重症外傷患者の治療法開発の基礎データとなります。

今回の研究では、他の機関に検体や情報を提供する予定はありません。また、集積されたデータは容易にアクセスできない PC 内に保管され、セキュリティが設定された環境下で保管されます。また研究以外の目的に個人情報を利用されることはありません。

研究の期間

2019年11月25日～2029年12月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座が行います。

研究代表者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 学講座 渡部 広明

参加研究機関

[研究機関]

[研究責任者]

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座

渡部 広明

試料・情報提供機関 なし

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、研究期間中における初回受診日の翌年の3月31日までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院高度外傷センター 渡部 広明

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757 FAX 0853-20-2753